

第18回

日本女性腎臓病医の会

JSWN総会

Japanese Society of Women Nephrologist

日時

2020年6月13日(土)

総会19:00~21:00(18:30 受付開始) 懇親会21:00~22:30

会場

TKP大阪淀屋橋カンファレンスセンター カンファレンスルームA

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビルB1F

参加費 3,000円 (別途JSWN年会費2,000円を申し受けます)

事前の参加登録は必要ございません。当日会場に直接お越しください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

JSWN代表世話人

京都華頂大学
現代家政学部

武曾 恵理

第18回総会当番世話人

加野病院
腎臓内科

片淵 律子

熊本託麻台
リハビリテーション病院 内科

早野 恵子

プログラム

地域活動報告

座長 片淵 律子 加野病院 腎臓内科

北海道、東北、北信越、関東、東海、近畿、中国、四国、九州・沖縄

JSWN研究活動奨励賞授賞式

座長 宮崎 真理子 東北大学大学院医学系研究科
腎・高血圧・内分泌学分野

鳥巢 久美子 九州大学大学院医学研究院
包括的腎不全治療学

●2018年度受賞者経過報告

松本 あゆみ 先生 大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学
『Artificial Intelligenceによる腎生検組織評価法の確立』

大島 恵 先生 金沢大学 腎臓内科学
『糖尿病性腎臓病における新規サロゲートエンドポイントの
確立と国際比較』

●2019年度受賞者講演

村越 真紀 先生 順天堂大学医学部腎臓内科
『糖尿病性腎症の発症・進展における炎症制御因子としてのProgranulinの役割』

蒲澤 佳子 先生 新潟大学大学院 歯医学総合研究科 健康増進医学講座
『慢性腎臓病におけるカリウムの役割の解明 -保護因子としての可能性を探る-』

主催 JSWN(日本女性腎臓病医の会)

事務局 濱田千江子 順天堂大学 健康総合科学先端研究機構
片淵律子 加野病院 腎臓内科
若井幸子 東京都保健医療公社大久保病院 腎内科

事務取扱い担当:株式会社ピーシーオーワークス
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-4-2 神田アーバンビル2階
TEL:03-3291-3636 FAX:03-3291-3635 E-mail:jswn_info@pcoworks.jp

裏面もご覧ください。



第18回 JSWN総会

Japanese Society of Women Nephrologist

「女性医師が管理職になった時 ～リーダーシップとマネジメントを考える～」

三菱商事ヘルスケア部 小西竜太

診療所であれ、病院であれ、医師キャリアを続けていく中で、いわゆる診療科部長や院長といった典型的な管理職につくこともあれば、院内委員会、プロジェクトや学会研究班など多様な場面でリーダーシップを求められることもある。臨床現場において、ミドルマネジャー（中間管理職）はリーダーシップもマネジメントのいずれも発揮して、診療にも部門運営にも大きな影響を及ぼすことが多い。質の高い医療は、患者に相対した時の臨床能力だけをいうのではなく、業務運営を円滑に行い、多職種と共に働き、常に組織全体のレベルアップを図りながら、安全で安心な医療を提供して結果を出し続けることにある。これを実現するには、リーダーシップやマネジメント能力などのノンテクニカルスキルが必要であるが、体系的に学んだ経験のある医師はほとんどいない。実際には「生まれながらの特性や素養、性格に基づくもの」と考えて、ひたすら知識や技術の向上にしか向き合っていないだろう。しかしながら、これらの能力は後天的に獲得できるとされている。好き嫌いや向き不向きがあるかもしれないが、体系的に可視化・言語化された知識体系として学び、過去の修羅場経験や成功体験、現在進行形の実践経験に理論的省察を加えることで、意識的に現場で活用できる気付きに繋がる。もちろん診療だけではなく、教育や研究にも同じように適応できる。これがリーダーシップやマネジメントの能力開発であり、企業等では一般的に行われている。たとえ管理職ではない若手や中堅医師であったとしても、医学知識や診療技術の成長に応じて、ノンテクニカルスキルも身に付けていくことで、日常診療や業務がスムーズに進むにちがいない。そして妊娠、育児、家事や介護を両立する女性医師で、限られた時間の中で納得できる仕事をしたいと思う医師にとっても、ノンテクニカルスキルが日々の助けになるだろう。

今回、これまで言語化されてきた経営学や組織行動学、行動経済学など、医療マネジメントの基本を紹介して、今後の関心や学びにつなげたい。診療現場におけるリーダーシップやマネジメントの実践が、女性医師の皆さんにさらなる輝きをもたらすと強く信じている。

